

議員に聞かせてください

阿寒・音別地区の暮らしと未来を語ろう会



目次

阿寒・音別地区の暮らしと未来を語ろう会 結果概要…… 3ページ

音別地区意見交換会…………… 4ページ

阿寒地区意見交換会…………… 6ページ

アンケート結果…………… 9ページ

阿寒・音別地区の暮らしと未来を語ろう会 結果概要

釧路市議会では、釧路市議会基本条例に掲げる「市民にわかりやすい開かれた議会」の実現を目指し、市民と議員が自由に意見を交わす場として、平成 30 年度から各種団体との意見交換会を開催しております。

このたび、阿寒町・音別町との合併 20 年の節目にあたり、地域の現状や課題、将来への思いについて率直なご意見を伺うため、議会広報広聴特別委員会として初めて阿寒・音別地区を対象とした意見交換会を開催いたしました。

本意見交換会は、阿寒・音別地区の皆様との対話を通じて、地域課題や市政に対する考えを共有するとともに、釧路市議会の役割や活動への理解を深めていただき、市政や議会への関心を高めていただくことを目的として実施したものです。

1 開催日時及び場所

< 音別地区 >

日時 2026 年(令和 8 年) 5 月 16 日(土) 13 時 00 分～14 時 30 分

場所 音別町コミュニティセンター

< 阿寒地区 >

日時 2026 年(令和 8 年) 5 月 17 日(日) 13 時 00 分～14 時 30 分

場所 阿寒町公民館

2 参加者

< 音別地区 >

議会広報広聴特別委員会 5 名、正副議長、オブザーバー議員 1 名

参加者 13 名

< 阿寒地区 >

議会広報広聴特別委員会 5 名、正副議長、オブザーバー議員 2 名

参加者 9 名

意見交換会質疑内容(音別地区)

○SOP(Standard Operating Procedure:標準作業手順書)の徹底、計画立てて事業が進められているのか知りたい。

○離農問題。放棄した状態の耕作地が増えている。そこで以下の要望を挙げる。

- ・小規模な循環型農業を進め、積極的な新規就農支援策を打ち出してほしい。
- ・植林をするなどして土地の持ち主が管理しやすく、有効活用してほしい。
- ・職員に大学で林業を専攻していたような専門員を配置して、積極的に林業支援を行なってほしい。

○音別学園には、150人の障がい者がおり、50人もグループホームから通っている。職員の80人中20人は釧路市から通っている。

・職員の確保が難しく、給食を作っていた女性も高齢で引退するにあたり食堂の維持が難しく、外注することになった。

・公営住宅だと家賃が7万円まで上がるため、白糠や釧路で暮らすことになるため独身が安く入居できるスキームが必要である。

○市営住宅を若手、子育て世代に無償提供して、音別地区への移住を促してほしい。

○運動したくとも場所がなく、トレーニング器具のあるような場所は、大塚の職員しか使えない。健康寿命延伸のためにも、何か手法を考えてほしい。

○地区会館の外壁が剥がれていたため修繕をお願いしたが、市の会館と合わせて一律に進める必要があるが、1-2年放置されている。釧路市や阿寒町と同列、一律に考えられることが多いので、「音別スタイル」といった特例対策を進めてほしい。

本当の平等とは制度ではなく、困っている人をなくすことでは？

○音別町独自の柔軟な対応を、市に求める。

○給食センターが一元化されたことで、個人商店が音別で経営が立ち行かなくなった。民業圧迫である。

○年金暮らしなどの困窮者に対して安く利用できる食堂が必要。例えば音別学園や給食センターの料理を安く提供できる仕組みにしてほしい。

○空家バンクの内装工事も1戸数十万円の補助ではなく、100万円単位の補助を出すべき。

○太陽光発電施設の開発が進む中、自然環境や景観への影響を懸念する声があった。地域住民への丁寧な説明と慎重な検討を求める。

○半年で6件も役場内でヒューマンエラーが発生している。管理はどうなっているのか？議員はどのように追求しているのか？

参加者からの感想(音別地区)

○いろいろ勉強になりました。

○議員さんたちには、もっと等身大の住民を理解していただきたく存じます。行政全体でワンクッションある感じがします。

○運営が大変なことは充分承知しています。体に気をつけてがんばってください。

○子どもたちを増やし、労働人口を増やして税収をどう上げるかがもっと長期目線で考えて欲しい。できる人ほど高校、大学、就職で離れてしまう。田舎の AI リテラシーを上げられるとよさそう。

○プロセスが必要。

○「音別スタイル」よろしくお願いします。



意見交換会質疑内容(阿寒地区)

○議会報告会で市民の声を集めても何も反映されていない。達成までのスケジュールと成果の報告を義務づけて欲しい。市民から寄せられた意見について、対応状況や進捗、結果が見える形で継続的に報告してほしい。

○ODX はいいが、全てをインターネットで掲載するのは止めて欲しい。

旧来の折りたたみ携帯の人もいると認識して欲しい。

○市の HP は見にくい。URL ばかりで奥深くまで潜らなければ必要な情報にたどり着けない。

○デザインが時代にあっていないと感じる。広報コンクールなどで競ってはどうか。

○ふるさと納税で 6700 万集まったのに、使い道が給食センターの解体工事や幼稚園の舗装に使われていることに疑問を感じる。住民の意見を聞き入れる余地が欲しい。

○廃校の利活用を進めて欲しい。教育施設の縛りを説いて、一般財産に変更したらよい。

○「ツル」の繋がりで鹿児島県出水市から中学生が夏に来るが、阿寒からは行けていない。

旧阿寒町時代のホームステイ交流などを復活させてほしい。

○「おでかけパス」を含めた交通網の充実。免許返納してから、地域で利便性を保持したままの暮らしが描けない。

○予算を理由に地域の整備が遅れているのは理解できない。例えば阿寒休養村のローラー滑り台、市道の白線、ボロボロになった国旗。金がないなら知恵を出せ、知恵もないなら足で稼げ。

○旧阿寒町時代に整備した球場は水はけもよいと言われているので、有効に活用してほしい。されていない現状は広報不足だからでは？

○旧スケートリンクも、ラジコンのコース利用ができるのでは？広報が足りない。

○振興公社に委託しているトレーニングセンターは音が響きすぎるため、吸音材を入れないと子供達に対する指示さえ通らない。利便性の向上を。

○赤いベレーについて。築 32～33 年が経過するが、冷房設置はキュービクル(受変電設備)等の大元からの改修が必要で数千万円かかると言われる。減価償却を考えても今すぐ大規模改修(投資)すべき。レストランのメニューも改善を望む。

○阿寒高校について。自助努力によって向こう 10 年は統廃合の危機から逃れた。しかし、総生徒 20 人以上は引き続き必要。釧路の重点戦略にも地域校として阿寒高校の存続を明記してもらった。そこで、以下の点を要望する。

・市内路線のフリーパス(2-3 万円)に阿寒町も範囲に加えてもらい、なおかつ釧路市からの補助金で 1 万円の負担にしてほしい。

- ・釧路町からの生徒もいるが、市民を対象にした補助を特例で認めてほしい。
 - ・体験入学会の送迎バス代を、同窓会だけではなく市も補助してほしい。
 - ・オンライン入学相談会をもっと周知してほしい。
- 阿寒町残し協力隊が発足。ふるさと納税を活用して、タンチョウの餌のとうきびを生産できる体制の構築。

参加者からの感想(阿寒地区)

○議会だよりについては、もう少し見やすく。今日は良い機会だと思いました。

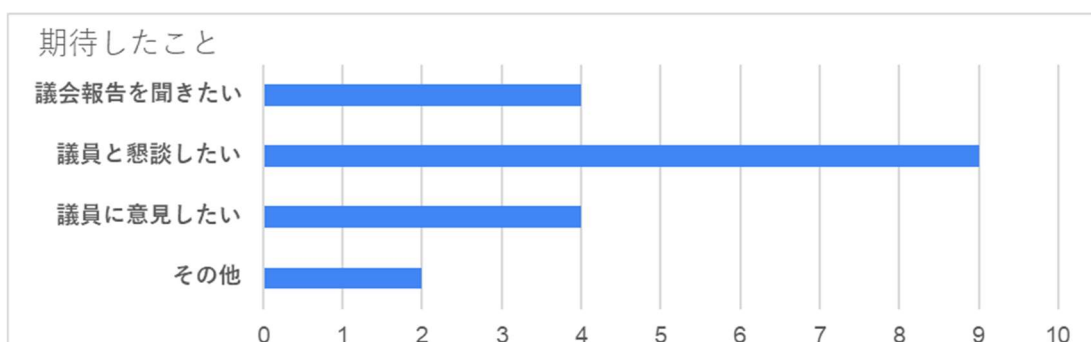
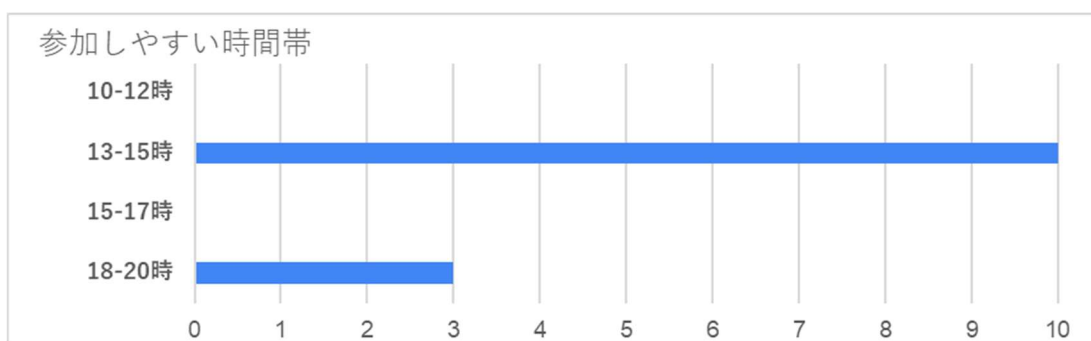
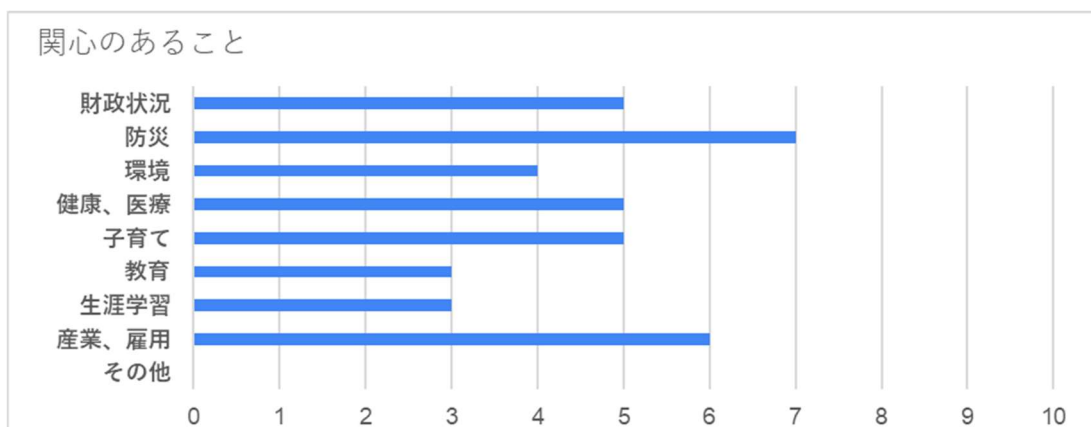
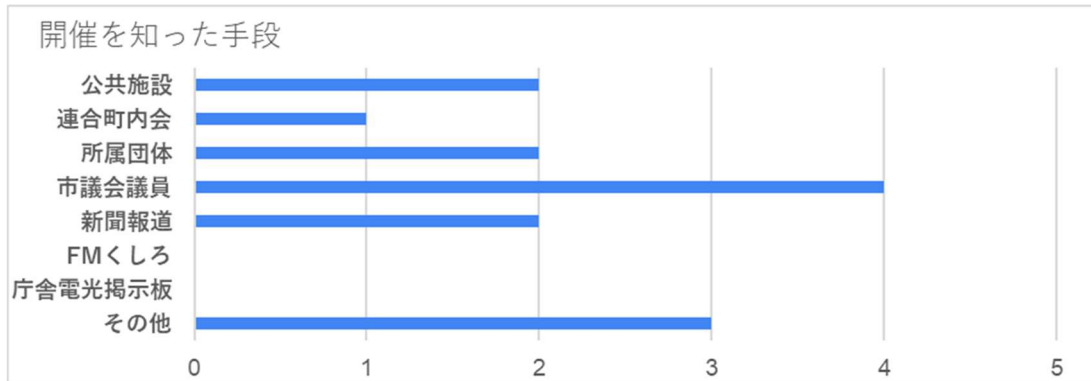
○議会だよりについてはもっと読みやすくして欲しい。

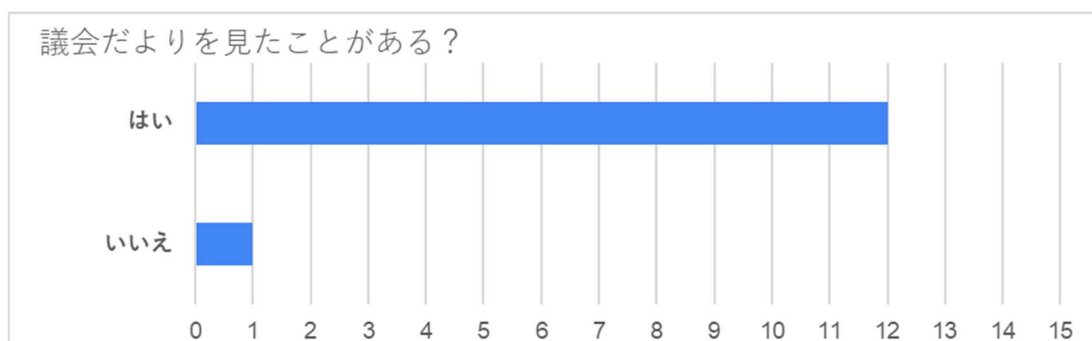
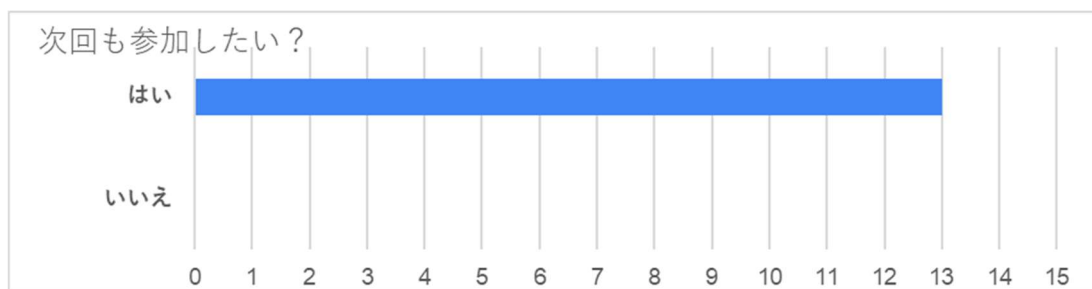
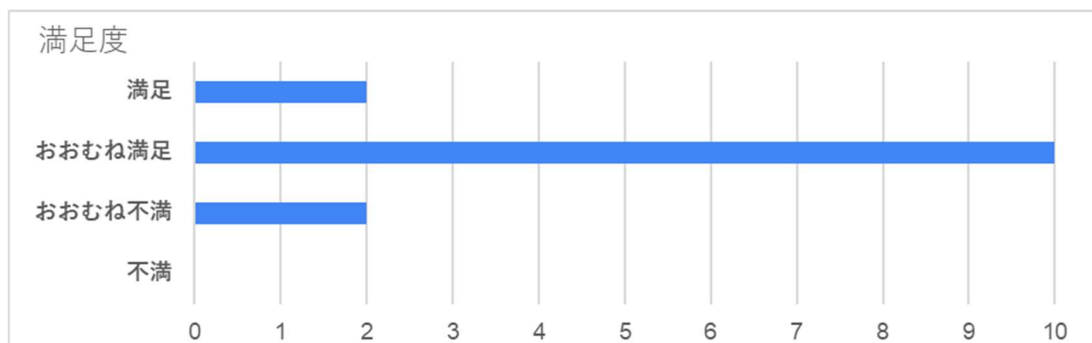
次回は時間を区切らずにやって欲しい。成果を広報誌で報告して欲しい。



アンケート結果

<音別地区>





<阿寒地区>

